

パイナップル



倶楽部 PINE CLUB

三田市国際交流協会
SANDA INTERNATIONAL ASSOCIATION(SIA)

〒669-1528 三田市駅前町2番1号
キッピーモール6階 三田市まちづくり協働センター内
TEL:079-559-5164 FAX:079-559-5173
2-1 Ekimaecho Sanda Hyogo 669-1528
E-mail: office@sia-japan.org

Vol.47 <http://www.sia-japan.org/>

パイナップル倶楽部の名前は、三田市木の赤松(レッド・パイナップル・ツリー)に由来します。

日本語教室「日本語サロンさんだ」

Japanese class 「Nihongo Salon SANDA」 受講生随時募集

日本語を勉強したい人のための教室です。ボランティア講師が1対1で、受講者の目的やペースに合わせて指導します。

Any foreign residents who would like to learn Japanese are welcome to join "Nihongo Salon SANDA".

月曜クラス Every Monday : 10:00-12:00

木曜クラス Every Thursday : 18:30-20:00

土曜クラス Every Saturday : 13:30-15:45



子どもにほんご教室「SKIP」

Sanda Kids International Place

For children of non-Japanese tongues or those with parents of non-Japanese tongues, aged 5 to Junior high school

本人が親が日本語を母語としない5歳児～中学生を対象に、ボランティアスタッフと、学校や生活で必要な勉強や日本語を学習します。

土曜日(月3回程度) 13:30 ~ 15:30

Saturday (thrice/month)



場所: まちづくり協働センター(三田駅前キッピーモール6F)
Place: Sanda Public Community Center(In front of Sanda Sta./Kippy Mall 6th floor)

受講料: 半期(4月~9月, 10月~3月) 2,000円
Fee: 2,000 yen for a half year (April-September, October-March)

詳細は事務局まで Please contact Sanda International Association office

事務局 TEL 079-559-5164 <http://www.sia-japan.org/>

協会ホームページが変わります!

近々リニューアル(予定)

<http://www.sia-japan.org>

イベント予定や募集をわかりやすくし、事業の様子をすばやくアップします。また、ツイッターでのお知らせも行います。新しくなったSIAホームページにぜひアクセスしてください。



SIA総会&25周年記念交流会開催 5/25(日)

25周年の節目にあたり、総会後に記念交流会を行いました。設立当時にご活躍された上田正子さん、山崎宏之さんに当時の話を伺いました。

また、今年のブルーマウンテンズ市への派遣高校生の紹介も行いました。(2面に関連記事)

第1回国際交流貢献賞に西浦氏

地域での草の根の国際交流に尽力された方に贈る国際交流貢献賞を昨年度新設しました。第1回は、三田市農業委員会と三田ロータリークラブから推薦のあった西浦道雄さんが受賞し、2/11の国際交流DAYで授賞式を行いました。



姉妹都市との交流団体の体験記録募集

協会設立25周年を記念して、過去に姉妹都市と交流を行った市民団体の体験談を募集しています。B4サイズ1枚で壁新聞風に作成ください。とりまとめで記念小冊子を作成する他、国際交流DAYなどでの展示も予定しています。データ、紙どちらでも結構です。詳細は協会事務局までお問い合わせください。(7月末締切)

2014年度の主なイベント

協会設立25周年を迎え、さまざまな記念イベントも予定しています。どうぞお気軽にご参加ください。

三田地域に住む外国人との交流・国際理解

- 国際交流DAY(2/15) ●国際交流DAYキャンプと防災オリエンテーション^{*1}(6/8)
- 秋のお楽しみDAYキャンプ(11月) ●国際理解講演会(1/25)
- 国際理解事業<チャットの会>(毎月第3土) ●高校生と留学生との交流会(9月)
- 千刈多文化キャンプ(11/8) ※関学共催 ●多文化共生セミナー(3月)

海外姉妹都市等との交流

- キティタスマーハイク(7/19~27) ●BM市へ高校生派遣(7/25~8/8)
- BM市から留学生受け入れ(9月) ●マスターズマラソン姉妹都市選手歓迎会(12月)

在住外国人の生活支援

- 日本語サロンさんだ(月・木・土) ●日本語教育ボランティア養成講座
- 子ども日本語教室「SKIP」(土) ●外国の子ども支援ボランティア養成講座
- ボランティア通訳派遣・翻訳サービス(通年) ●医療言語サポーター養成講座

語学講座

- 英会話講座(月・水 レベル別5クラス) ●英語であそぼう(毎月第2土)
- 中国語講座(土・日) ●はじめての中国語会話(9~3月 土)
- 入門韓国語講座(4~12月 月 レベル別2クラス)

国際交流プラザ^{*1}

- 外国人のためのセミナー(年5回程度)
第1回「お弁当をつくろう」6/29 「就・進学相談」9月(予定) 「働き方教室」10月(予定)ほか
- 世界あれこれミニトーク(年3回程度) ●外国語絵本の読み聞かせ「とんとんひろば」(毎月第2火)

*1) 市受託事業

募集等は協会HPや市広報でお知らせします。詳細は協会事務局までお問い合わせください。予定ですので変更になることがあります。

国際交流・理解を深めた「国際交流DAY2014」(2/11)



第5回外国人による日本語スピーチ大会

6か国10名が参加し、グランプリはナランダ・ナタラージャンさん(インド)が受賞しました。それぞれ個性があるテーマや内容で、日本や日本人の良さに触れながら、慣れない日本での生活を外国人ならではの視点で生き生きと語ったスピーチが多く、聴いていて心地良い大会でした。(4面に出場者と受賞名、ナランダさんのスピーチを掲載しています。)

世界のことば体験

日本語サロンで学習中の外国人が、出身国の言葉を紹介する毎年恒例の人気コーナーで、体験を待つ参加者の列ができていました。触れる機会の少ないインドネシア語やベトナム語などを興味深く教えてもらっていました。



世界のことば体験



高校生報告

ブルーマウンテンズ市派遣高校生の報告会

昨夏にオーストラリアBM市へ2週間派遣された泉本可愛さんが現地の様子や体験を報告しました。習慣の違いや学校生活の違いに戸惑いながらも楽しく過ごした様子を語ってくれました。

交流パーティー

手作りの外国料理による交流パーティーで、フィリピンのおふくろの味チキンアドボ、色鮮やかな韓国海苔巻き(キンパブ)、見かけはあんこのようなブラジルの黒豆と肉の煮込みフェジョアード、スパイスが特徴スリランカカレー、そして地元三田のまこれる団子などを食べながらの交流を楽しみました。朝早くから用意した料理が一瞬で売り切れました。食後にはフェアトレード・コーヒーが大人気で、準備していたフェアトレードについてのお話をする暇もないくらいでした。外国の子どもたちによる歌やダンスやクイズ、外国人の振袖姿や民族衣装の披露、高校生による姉妹都市クイズも会場を盛り上げました。



子どもたちの歌



着物・民族衣装披露



とんとんひろば

外国語絵本読み聞かせ「とんとんひろば」

毎月第2火曜日に子育て交流広場で行っている国際交流プラザの外国語絵本読み聞かせ「とんとんひろば」を、座敷スペースで行いました。英語・中国語・スペイン語での絵本読み聞かせを参加者は親子で楽しんでいました。

協会設立 25 年のあゆみ

三田市において民間の地域レベルの国際交流を目指そうと、三田市区長・自治会長連合会、三田市連合婦人会等が発起人となり、前身の「国際交流推進懇話会」を発展させる形で、25年前の1989年6月29日に三田市国際交流協会が設立されました。協会活動の歩みをご紹介します。

設立25周年を祝して

三田市長 **竹内 英昭**



三田市国際交流協会が設立25周年記念を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

貴協会は、「国際交流推進懇話会」が発展するかたちで平成元年6月に設立されて以来、姉妹都市交流をはじめとする国際交流の推進から、多様なニーズに柔軟に対応した多文化共生事業へと大きく活動範囲を広げられ、三田市の多文化共生社会の実現の重要な一翼を担い、ご尽力賜りましたことに対しまして、深く敬意と感謝の意を表します。

国際化の進展に伴い、三田市においても外国人の方の国籍の多様化、定住化が進んでおり、現在は、37か国973人(平成26年4月末現在)の外国人の方が暮らしておられます。

当市におきましては、国籍や民族などの違いを越えて、すべての市民がお互いの文化や価値観を認め合いながら、安心して暮らせるまちづくりを進めることが、今後益々必要になってくると考えております。

今後は、姉妹都市をはじめとする諸外国と市民を中心とした交流の促進により、さらなる相互理解を深め、豊かな国際性を育むとともに、多文化共生のまちづくりを進めていく所存でありますので、貴協会の皆様方のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたりまして、三田市国際交流協会の益々のご発展を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

設立 25 周年を迎えて

三田市国際交流協会 会長 **中島 翠**



1989年三田市国際交流協会が設立されて25周年の節目を迎えることとなりました。この4分の1世紀の歩みの中で、姉妹都市交流と在住外国人との共生を軸とした様々な活動を続けてまいりました。

姉妹都市交流事業では、当市とオーストラリア・ブルーマウンテンズ市、アメリカ・キティタス郡、韓国・済州市の3都市との市民訪問団相互受け入れや、ブルーマウンテンズ市との高校生交換留学の実施などで、市民を主体とした交流を深めました。

外国人の生活支援事業では、三田市の補助・委託事業として「日本語サロンさんだ」や、通訳・翻訳ボランティア制度による多言語情報の提供は、生活者としての外国人に好評を得ています。

また、交流啓発事業では、「外国人による日本語スピーチ大会」、「世界のことば体験」など外国人の居場所づくりにも役立っている「国際交流DAY」や、日本人市民と外国人市民の屋外での交流の場としての「国際交流DAYキャンプ」は、恒例イベントとして定着しています。

今後一段と国際化が加速される社会の中で、多様な文化を理解し尊重しながら、ともに暮らしていける「三田国際田園都市」の名にふさわしい「まちづくり」を目指して協会事業を展開していきたいと考えております。

設立以来、協会の活動にご支援いただいた皆様に深く感謝し、これからも変わらずご指導ご協力をお願い申し上げます。

年	全体
	姉妹都市交流
	地域での交流・啓発
	外国人支援
1988	(濠・ブルーマウンテンズ市(BM市)と姉妹都市提携)
1989	協会設立
	三田国際マスターズマラソン姉妹都市選手受入(～現在)
1990	学生英語スピーチコンテスト(～07)
1991	パイノ倶楽部創刊
	BM市へ高校生派遣
	国際交流 DayCamp(～現在)
1992	(米・キティタス郡と姉妹都市提携)
	BM市と高校生相互派遣(～現在)
	英語版三田カルタ作成
	外国料理講習会(～03)
1993	BM市山火事災害義捐金募金
	ホームステイ受入講座(～02)
1994	阪神大震災被災地救援活動(中華同文学校)
	(日本語サロンさんだ開設)
1995	シンボルマーク決定
	(日本語サロンさんだ木曜クラス開設)
	済州島に中高生派遣(三田ライオンズクラブ共催)
1996	Let's Talk Together(～05)
	済州島に中高生相互派遣(三田ライオンズクラブ共催)(～06)
	日本語サロンさんだが協会に編入
1997	(韓・北済州郡と姉妹都市提携)
	ホストファミリー手引書作成
1998	Friendship Day in SANDA(～現在)
	ホームステイ英会話講座(～03)

1999	ホームページ開設	日本語教育ボランティア養成講座(～現在)
2000		
2001		三田市国際交流団体連絡会(～02)
2002		キティタス郡提携10周年相互訪問
2003	メルマガ発行	BM市提携15周年相互訪問
2004	協会設立者等懇談会	
2005	協会15年のあゆみ発行	
2006	国際交流プラザ開設・運営受託(～現在)	
	まちづくり協働センターに事務拠点を移転	
2007	(北済州郡が済州市に統合)	
	済州市提携10周年相互訪問	
	キティタス郡提携15周年相互訪問	
2008	国際交流DAY(～現在)	国際交流DAY(第2回日本語スピーチ大会)
	BM市提携20周年相互訪問	
2009		日本語スピーチ大会(～現在)
		通訳翻訳制度開始
2010		多文化共生セミナー(～現在)
		日本語サロンさんだ土曜クラス開設
		コミュニケーションカレンダー作成
2011		外国人のための防災セミナー(～現在)*受託事業
		多言語版子育てハンドブック作成(～現在)
		多言語版市広報等通訳翻訳市関連業務(～現在)*受託業務
2012		済州市提携15周年相互訪問
		キティタス郡提携20周年相互訪問
2013		BM市提携25周年相互訪問
		医療通訳セミナー(～現在)
		子どもにほんご教室[SKIP](～現在)

セントコロンバス高校から義捐金のお礼状が届きました

昨夏、オーストラリア南東部で大規模な山火が発生し、姉妹都市ブルーマウンテンズ市やその近郊でも多くの被害がもたらされました。三田市と三田市国際交流協会では義捐金を募り、多くの方の善意をいただきました。ブルーマウンテンズ市内の高校等に送り、セントコロンバス高校よりお礼状が届きました。



平成26年度 ブルーマウンテンズ市派遣高校生決定!!

本年度の派遣生は坪田紗也加さん(三田祥雲館高校2年)、廣川和也さん(大阪教育大学附属高校池田校舎1年)の2名に決まりました。これから数回のオリエンテーションで語学や現地生活のアドバイスを受け、夏休みにブルーマウンテンズ市に出発します。



◀坪田紗也加さん
「美しい風景の写真をたくさん撮って、楽しんでいます。」



▶廣川和也さん
「書道をやっているのので、向こうで教えたと思います。」

次号にて派遣レポートを掲載します。お楽しみに。(過去のレポートをホームページに掲載しています。)

キティタス郡からビッグバンドがやってくる!

～7/26に郷の音ホールでコンサート～

姉妹都市キティタス郡より、7/22～28「エレンズバーグ・ビッグ・バンド」のメンバー約20名が来訪します。郷の音ホールにてコンサートが行われる他、市内家庭にホームステイし、交流を深めます。

Summer JAZZ Concert SANDA × Kittitas County, USA

とき:7月26日(土)14時開演(13:30開場)

出演:ELLENSBURG BIG BAND

三田市吹奏楽団・三田ジュニアバンド

問い合わせ:

三田市総合文化センター
(Tel.559-8101)

入場無料
(要整理券)



ブルーマウンテンズ市 和紙絵作品展

5/29～6/3 郷の音ホール

三田に在住されていたブルーマウンテンズ市のヨーコ・マリガンさんとその生徒さんの和紙絵展を開催中です。期間中、ホームステイし、交流されます。



パインほっとインタビュー ~フランス編~ トップシェフが集まる「美食の街」リヨン グザビエ・マルテルさん

出身地はどこですか？

パリのリヨン駅(Gare de Lyon)からTGV(高速鉄道)で2時間ほど南に行ったリヨン(Lyon)で生まれました。リヨンには21年間住んでいましたが、その後もっと南にあるアルル(Arles)のフランス国立アルル写真学校を経て、パリ第一大学で美術史を研究しました。そしてパリ郊外のイル・ド・フランス写真センター(Centre Photographique d'Ile-de-France)、国立写真文化遺産協会(Patrimoine Photographique)、フランス写真美術館(Musée Français de la photographie)などで仕事をしながら、パリ第一大学で美術史を教えていました。



グザビエさんが撮ったリヨンの街

今はフリーランスで国立博物館協会(Réunion des Musées Nationaux)が進めている ARAGO (フランスが所蔵する写真コレクションの閲覧サイト) というプロジェクトに関わる仕事をしています。

グザビエさんが生まれ育ったリyonはどんな街ですか？

リyonはとてもいい街です。歴史的に有名な地区があり、8年前に世界遺産に登録されました。リyon市は約160万人が住むフランス第2の都市ですが、食べ物の世界ではフランスの首都と言った感じです。美食料理(Gastronomie)で有名なポール・ボキューズなどのシェフはこの出身です。

歴史的にみると、元々はケルト人が住んでいましたが、紀元前43年に、ローマが侵攻しルグドゥヌムと名付けられました。2世紀には皇帝の属州ガリア・アルグドゥネンシスの中心都市として栄えました。今でも城壁や円形劇場が残っています。14世紀初めにフランス王国に併合されましたが、このころから絹織物の交易の一大中心地として発展しました。日本とも古くから交易があり、リyonの蚕が病気で全滅した時には、日本から輸出したそうです。

「フランス物語」を書いた作家の永井荷風さんが横浜の銀行の社員としてリyonに滞在したこともあります。現在リyon市は横浜市と姉妹都市提携していますし、大阪市とも交流があります。

リyonの食べ物はどうですか？

郷土色豊かな家庭料理がリyonの食文化です。リyonの郷土料理レストランをブションと呼びます。まわりには、ボジョレ、ブルゴーニュ、コート・デュ・ローヌなどワインの名産地がたくさんあります。私はコート・デュ・ローヌのエルミタージュが好きです。特に白のエルミタージュは日本料理のウナギの蒲焼と最高に合います。郷土料理のトリュフとピスタチオ入りソーセージが入ったブリオッシュが好きです。これは肉屋さんで売っています。

他にも、ケネルという魚のすり身団子にソースをかけたものや、牛の胃のカツなどがあります。日本のデパートでもフランスフェアが開催されることがあるので、行ってみてください。

なぜ日本に来ることになったのですか？

2005年に京都で「日本とフランスの写真」の写真史研究の仕事で、平安神宮の近くのヴィラ九条山のレジデンスに約6か月間滞在しました。その時現在の妻と知り合い、その後パリに戻りましたが、2009年8月に彼女と結婚しました。3年間はフランスと日本で別々の生活でしたが、2年前に日本で一緒に暮らすことになりました。



息子とグザビエさん

日本の食べ物はどうですか？

日本の和菓子が好きです。美味しいだけでなく、とてもきれいで芸術的です。きねやの抹茶、あんこ、柚のお菓子が大好きです。それとプラセボのフランスパンも美味しいです。篠山の猪鍋も好きです。味噌の味付けで少し辛いので日本酒と良く合い、ついつい飲みすぎてしまいます。

三田の街はどうですか？

自然と調和した住みやすい街です。電車とか病院などいろいろと施設が整っていて便利な街です。パスカル三田も好きで、野菜とか肉を買いによく行きます。肉で思い出しましたが、日本で売られている肉の種類は少ないですね。フランスでは兎、仔羊、子牛、子豚、猪、雉、鶏の肉などが簡単に手に入ります。

現在の仕事は？

フランスでしていた仕事(ARAGO)をフリーランスでつづける傍ら、友人と一緒に日本の写真史に関する書籍を出版する予定です。将来的には美術史研究の会社アルス・ルミ(ARS LUMI)を立ち上げるつもりです。

現在のパリはどうですか？

パリは都会で、個人主義が徹底しているのでお互いに干渉をせず、人と人があまり交流しません。従ってパリ市役所でお祭なんかの催し物を企画してもあまり集まりません。10年前に日本のアニメとかコスプレがパリで流行りましたが、これは日本の文化を正しく伝えていませんね。日本風の寿司屋さんもパリにはたくさんできましたが、たいていは日本人以外の人が日本の握り寿司に似せて作ったものを売っています。どこでも人が集まる都市は同じだと思いますが、パリでも最近には特にすりやひたつくりが増えてきました。日本人がパリを訪れて観光や買い物をするときには特に気を付けて下さい。最近ではスマホが狙われていますので、ポケットなどに安易に入れて歩かないことです。パリは素敵な所がたくさんある街です。中でも私はルーブル美術館が好きで良く通いますが、何回訪れても飽きません。みなさんもパリに来たら必ず寄って下さい。とても素敵ですよ。(Teruzo & Motoko)

外国人のためのセミナー

「世界のお正月を知ろう」(12/22)

日本のお正月について学びました。しめ縄や鏡餅の由来、おせち料理に込められた願いなどの説明をおせち料理を試しながら聞き、中国や台湾のお正月についても紹介がありました。餃子は昔のお金の形に似ているのでお金持ちになるよう願いを込めて、大晦日に家族がそろって餃子を作って食べたり、年が明けるときに爆竹を一斉に鳴らしたりします。また、「倒」(中国語で「逆」の意味)と「到」(中国語で「来る」の意味)の発音が同じなので、福が来るよう願いを込めて「福」という字を逆にして飾ります。参加者たちは習慣の違いを楽しく知ることができました。

* 国際交流プラザ *

世界あれこれミニトーク

「HAPPINES」と「幸せ」～ブータンからの報告～(2/23)

JICA ボランティアとしてブータンへ行った小堀裕美さんに、ブータンとはどのような国か、JICA 支援の活動内容について語っていただきました。「幸せの国」GNH 政策を打ち出すブータンですが、現実の姿はどのようなのか…。講演者小堀さんが現地で体験したエピソードをありのままにお話し頂き、国によっても、人によっても違う幸せの価値観について考えさせられました。参加者からは、「悩み事を違う角度から考えてみようと思った」「ブータン人の価値観で取り入れられる所は取り入れたい」などの感想が寄せられました。小堀さんの「行動力」と困難にも立ち向かう「情熱」に感銘を受けた方も多くいました。また、「小堀さんの撮ったブータンの写真展」を同時開催しました。自然豊かな広大な景色や、人々の飾らない日々の営みが写しだされていました。



行政書士 森田幸生事務所

- 国際結婚 ●離婚 ●相続 ●成年後見 ●在留資格(ビザ) ●帰化 ●永住
- 海外留学・海外ロングステイに関するアドバイザー・手続き ●海外ビザ取得手続き
- 日英(私・公文書)翻訳 ●パスポート発給申請 ●法人設立 ●各種許認可申請
- クーリングオフ ●契約書・遺言書・エンディングノート ●内容証明 ●その他書類作成

SACHIO MORITA, Gyoseishoshi (Immigration) Lawyer, assists foreign nationals in Japan with legal and everyday life matters relating to:

- Visa (Permanent Residence Visa) ●Immigration ●Naturalization ●Marriage ●Divorce
- Inheritance ●Guardian ●Traffic Accident ●Company Incorporation ●Business License
- Translation ●Interpretation ●Cooling-off period ●Any Other Administrative Proceedings at City Offices and other Governmental Agencies

If you need professional legal advice and assistance living in Japan, please contact SACHIO MORITA, Gyoseishoshi (Immigration) Lawyer.

Office Hours: Weekdays 9:00 a.m. - 6:00 p.m. by appointment only



TEL 079-553-0766 〒669-1514 三田市川除353-1 創水ビル2F (川除バス停前)

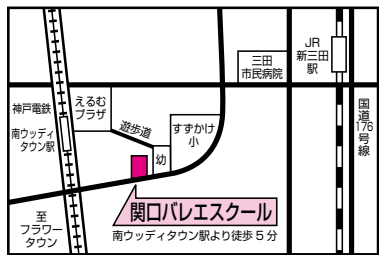
森田幸生 検索 http://moritasachio.gyosei.or.jp/

クラシックバレエ

正しい指導で、明るく楽しいスクール
日本バレエ協会会員

関口バレエスクール

入学随時
※関口バレエ団・団員同時募集
TEL (079) 565-1712
三田市すずかけ台2丁目15-3
(北摂中央幼稚園バス停前)
ウッディタウン本部・えるむプラザ教室
フラワータウン教室他あります



写真でみる協会イベント (H25.12~H26.5)



高平小学校5年生と日本語サロン(月)の交流会 (3/3)

児童 22 名が 5 グループに分かれ、用意してきた質問をして楽しい時を過ごしました。インド出身の人には、毎日カレーを食べているのかを聞くと、材料やスパイスをいろいろと変えるので毎日同じものではないし、日本では何でもカレーというけど、それぞれに名前がついた別料理だと教えてくれました。最初は緊張気味だった子どもたちも、慣れるにつれてどんどんと質問し、自分たちとは違う習慣やことば、食べ物などに関心を持った様子でした。



医療通訳養成講座 (3/15)

日本語を十分に理解できない外国人市民が医療機関を訪問する時に言語サポートする心得を学習するための講座が開催されました。多言語センター FACIL から李裕美先生をお迎えし、医療通訳の現状と心構え、注意点と問題点など、分かりやすいレジュメを使い説明して頂きました。このような場合にはどうする?といった質問のグループ討論では、異なった立場から多様な意見が出て、参加者からはとても勉強になり面白く感じた、次回があれば具体例に基づいたロールプレイを入れて頂けたら...などの意見が寄せられました。



三田国際マスターズマラソン姉妹都市選手歓迎交流会 (12/15)

マスターズマラソン 25 周年記念で、それぞれの姉妹都市より各 2 名計 6 名の招待選手を迎え、歓迎交流会を行いました。フルートや男声合唱の演奏を聴きながら、マラソンの様子や姉妹都市のことなどで盛り上がりしました。



多文化共生セミナー「おとなりさんはいこくじん」(3/9)

昨年に引き続きコーディネーターに関西学院大学准教授の大岡栄美さんを迎え、パネルディスカッションと参加者による意見交換を行いました。前半のディスカッションで、コンピューターエンジニアのジェイコブさん(インド)は同じ地域でもいくつもの言語や文化が共存していること、子育て中の石川静香さん(中国)は中国と日本の教育の違いに少しとまどっていること、上田ソフィアさん(インドネシア)は、初めて温泉に行きカギをかけて入ったら他人が入ろうとして怒っていてこわかった体験などを、日本人の学校の先生藤村さん、日本語サロンの加々美さん交えてトークしました。後半は、高校生や新社会人、公務員の方など幅広い層の参加者とパネリストで、いろいろな体験や外国人がより過ごしやすいまちになるためのアイデアなどを熱心に語り合いました。



「インド料理を作ろう」(1/26)

南インド出身のナランダさんにケララ(Kerala)スタイルのインド料理を教してもらいました。チキンカレー、フィッシュカレー、パイナップルプリシリー(ココナッツミルク和え)、Thoran(ホウレンソウ)の煮物、魚のフライ、デザートのパヤサム(カシューナッツのスイーツ)をみんなで作り美味しく食べました。



QUIZ 各□に入るアルファベットを並べ変えて1つの単語を完成させてください。毎年巡ってくるこの季節、これが一番役に立ちますね。

- 1. cha □ ge 充電する
- 2. colu □ n 円柱
- 3. press □ re 圧力
- 4. mar □ le 大理石
- 5. vac □ nt 空席の
- 6. harv □ st 収穫
- 7. fo □ d 折りたたむ

(答え) □ □ □ □ □ | □ □ □

応募方法 クイズの答えと①よかった記事、②取り上げてほしい記事、③感想、④ニックネームを記載のうえ、e-mail もしくははがきで事務局までお送りください。正解者の中から抽選で 5 名様に 1,000 円の図書カードをプレゼントします。締切 6 月 30 日必着

前回の答え: astronaut

<当選者(敬称略)>
Kenji V The 暇人
ソラミン かつちゃん
けんちゃん

豆ハングル

열 번 찍어 안 넘어가는 나무 없다.

繰り返し努力すれば最後には成功するものだという意味と、いくら強固な決意をしていても、繰り返し誘惑されるとついにはその誘惑に負けるという意味があります。好きな人にアタックしてもなかなか受け入れてもらえず落ち込んでいる人を友達が慰めるときによく使う言葉です。

では1つ1つの単語を見てみましょう。
열 번 10回, 찍어 叩いて, 안 넘어가는 倒れない, 나무 木, 없다 ない
何かを絶対に成し遂げたいとき、この言葉を思い出してくださいね。(YASUYO)

ひとこと英会話

play it by ear

A: What'll we do after the movie? B: I don't know. Let's just play it by ear.

「楽器を耳で覚えて楽譜なしで演奏する」というところから、「成り行きにまかせる」「状況に応じて判断する」といった意味で使われます。未来のことについて、具体的な計画がないとき、その場で決めよう、と言いたいときにぴったりの表現です。(SANA E)

第5回在住外国人による日本語スピーチ大会

グランプリ受賞のナランダ・ナタラージャンさんのスピーチ(抜粋)

みなさま、おはようございます。私はナランダと申します。よろしくお願ひします。インドからエンジニアとして1年10ヶ月前に日本にまいりました。私は11年前に結婚して9歳の娘がいます。家族は今インドにいます。



これからみなさまに、私の日本に来てから経験したことについてお話致します。

去年、主人と娘が日本に遊びに来ました。そのとき、静岡の日本人友達の家へ行きました。友達の娘さんが色々な日本の食べ物を作ってくれました。最初はお茶を作ってお菓子と一緒に出してくれました。お茶の出し方を見てびっくりしました。彼女はとても丁寧にお茶を一人一人に出しました。そして私たちがお茶を飲んでいるときに色々お話をしてインドの味とか好きなものとかを聞いたりしました。その後彼女が作った料理は私と家族の味にあっていました。それを見て、お客さんに日本料理の味までも食べやすくしてもらったのにおどろきました。娘もとてもおいしかったとよろびました。日本人のお客さんにたいする気持ちがうれしかったです。

<中略>



私が見てきたことは日本に来る前には日本のイメージとして思っていました。だからとてもカルチャーショックでした。日本人はどこをみてもマナーがいきとどいています。すばらしいきくばりだと思います。そのことを日本人はもっとじまんして良いと思います。私はこの他にもっとたくさん日本のことが知りたくなりました。

最近のことですが、私にサプライズがありました。関西空港へむかっているとき橋の上から見たのです。海の中から銀の丸い形のものが出てきました。空は黄色にかがやいていてまわりは青色でした。かがやきが海にうつって海も黄色になりました。日の出はそんなにも近くで見たのは初めてでした。世界の人々から"Land of Rising Sun"と言われている日本のけしきに出会いました。とてもラッキーでした。私は日本のけしきが大好きです。日本のかがきやじんじやも好きです。娘や家族とはなれていて、さびしいですが日本で友達や知り合いがたくさんできました。今は三だで毎日楽しくくらしています。

以上で私の話は終わります。ありがとうございました。

<原稿全文はホームページに掲載しています>

出場のみなさんと賞



・今後も国際交流に役立つ内容を期待しています。
・今年初めてホストファミリーをすることになりました。きっかけはパイフ倶楽部の記事を読んでみて、外国の方と一緒に生活して、文化や習慣の違いを楽しみながら、いろいろな経験ができて、お友達になれたら良いなと思ったからです。パイフ倶楽部を通じて、これからのいろいろな国の方と仲良くなれるような国際交流の輪を広げたいです。
・三田市の国際交流が年々活発になるのがよくわかります。
・高校時代、留学生を受け入れました。楽しかった思い出です。皆さんにも経験してもらいたいで、ホームステイの how to を特集してほしいです。
(掲載以外にもたくさんの声をいただきました。ありがとうございました。)

編集後記

ついに消費税が上がりました。税込 98 円だったものがなぜか税抜 100 円超になっているのに戸惑いつつ財布のひもを締めてがんばっています。6 月 29 日に協会も設立 25 周年を迎えます。時代とともに変わる面と大切にキープする面の両面を見据えて、次なる 1/4 世紀に向けてさらなる発展をめざしたいと思います。(Motoko)

協会会員募集

三田市国際交流協会では、共に活動を支える会員を募集しています。イベント情報提供のほか、一部イベントについては、会員優待料金で参加できます。詳しくは協会事務局までお問い合わせください。
年会費: 個人会員 1,000 円、団体会員 5,000 円 法人会員 10,000 円
【団体会員】三田市音楽協会、三田青年会議所、三田ユネスコ協会、三田ラグビー・フットボールクラブ、三田ロータリークラブ、三田関口バレエ団、三田市区・自治会連合会、三田市文化協会、三田市商工会、三田中央ライオンズクラブ、三田市観光協会、三田南ロータリークラブ、三田市老人クラブ連合会
【法人会員】榊池田泉州銀行三田支店、公益財団法人 神戸 YMCA 三田センター、太陽ケーブルテック(株)、榊丹波屋、学校法人湊川相野学園